

# 九条の会 金大ネット 通信

事務局 金沢大学 経済学部 小林研究室 (264-5415)

## 現在の国民投票法案は国民主権に反する

—— 国民主権・投票権の尊重を ——

飯田 克平 (元金沢大学)

安部内閣は、国民投票法について、5月連休前に国会を通過させ、憲法改定の実現へ進みたいとしています。与党に民主党も加わって協議している国民投票法案は、民主主義と国民主権無視の法案だと思います。この法案では、実際の憲法改定の投票に大変な悪影響を及ぼすと思います。九条の会：金大ネットでは、昨秋、岩淵弁護士（金沢大・法科大学院教授併任）の講演を聴きました。国会審議の前に、法案を考える参考にしていただくために、私の意見をまとめました。

### 九条と国民主権の上に戦争と国家をおく改憲案

自民党の改憲案は、九条の上に戦争を置き、国民主権と基本的人権の上に国家を置くもので、私にとっては恐ろしいような改憲案です。これは、根本的な社会制度の変更、「体制転換」だと思います。自民党は、この改憲案のことを新憲法制定と自称しています。

現憲法の武器の放棄、国民主権、基本的人権は堅持されるべきだと思います。ヨーロッパでは、変更禁止条項を持つ憲法があると聞きました。

このような重大な改憲を安易に実現するために、国民投票法案が準備されています。その色々な問題点のうち、1、改憲の成立は有効投票の過半数でよいか。2、国民投票の成立に投票率の規定は必要か。3、教員や公務員の活動を制限してよいか。4、テレビなどの利用は国会議席による配分でよいか、の4点について述べます。

#### 1、改憲成立は有効投票の過半数か、「全有権者の過半数」が論理的帰結

現在準備されている法案では、賛否が明確な投票だけを有効投票とし、その過半数で成立としているようです。しかし、国民投票では、国会選挙と異なって、白票や他事記載は無効と判断すべきではないと思います。白票は白紙委任ではなく、「解らない」や「賛成できない」票の

可能性があります。実際、改憲成立には、全投票の過半数を必要とする制度をとっている国もあるそうです。

しかし、国民主権の立場からすれば、改憲には、全有権者の過半数の賛成が必要とすべきだと思います。なぜなら、自民党は自ら新憲法制定としているように、現在の改憲案は、「新憲法体制」を求めるものとなっています。今とは違う「社会の形成」、すなわち、「体制転換」のための改憲です。このような改憲である以上、今の憲法体制から脱却と「新憲法体制」の素晴らしさを積極的に訴えて、有権者の過半数の支持を確保することが、改憲を主張する人々の責任であると私は考えます。如何でしょうか。

有権者の過半数の支持をえてこそ、「改憲」は一つの条件を乗り越えたことになるのでしょうか。

## 2、国民投票の成立の条件として、投票率・得票率の規定が必要

例えば、投票率20%でも投票成立とすると、実際には、有権者の10%の賛成で改憲成立ということになります。それ故に、当然高い投票率で規定すべきだと思います。仮に、投票率50%以上と規定しても、全有権者4人に1人の賛成で成立することになります。

したがって、国民投票の成立条件と改憲の成立条件を全有権者に対する投票率や得票率によって規定すべきだと思います。投票率を規定するのかどうか、どのような得票率になるのか、法案を監視すべきだと思います。

## 3、国民投票においては、教員、公務員にも訴える権利を

国民投票においても、国会選挙と同じように、公務員や教師は、地位利用として活動を制限する案が提案されています。何故、禁止されるのでしょうか。大会社の社長は会社の利益と合致するとして、改憲を訴えるのは、地位利用ではないのでしょうか。

国民のあらゆる職種の人々が、そして、教師が父母や学生に自分の考えを語るのは当然ではないでしょうか。すべての国民が自由に意見を表明する権利を保障してこそ、「国民」投票の名に値すると思います。

## 4、テレビ、新聞などの利用は国会議席による配分はすべきでない

現在提案されている法案では、国民投票での公的な宣伝は、国会での議席に応じての時間・紙面の配分と論じられています。しかし、少数派との差が大きすぎると同情を呼ぶとの意見もあって、手直しがされると聞いています。しかし、この考えは、基本的に誤りだと思います。国会での議席数の役割りは、国会での改憲案の成立で終わっています。

憲法改定では、国会の多数決では不十分だから、国民投票が行われるのです。その国民投票

に議席数の影響を与えようとするのは、思い上がりで、国民主権の侵害だと思います。

国民投票時におこなわれる公的な手段を利用した宣伝は賛否対等に行われるべきだと思います。その方法こそ工夫すべきです。また、政府の広報による宣伝の規正や資金の多寡による不公平克服も重要になります。

以上検討した4点から見ても、準備されている国民投票法案は、改憲案と同じように、国民主権無視、基本的人権の侵害の法案となっています。

アジアと日本の惨禍の上に築き上げられた現行憲法は、アジアと世界への日本の宣言でもあり、このような手続き法で現行憲法を終わりにするわけにはいきません。

## 今こそ、平和憲法の精神を！

山辺知紀（元金沢大学）

新しい年が始まりましたが、先日発表された「終末時計」の残り時間は、僅かに5分です。世界も日本も、相変わらず力に頼る政策から抜けられずにいます。もう少し頭を冷やして考えることが大事でしょう。安倍首相は、就任以来一貫して憲法を変えることを重要課題としていますが、誰がそんなことを「今」求めているのでしょうか。国民が今の政府に取り組んで欲しいと願っているものの順位の中では、一位は年金などの生活に関わる問題（約13%ほど）であって、憲法を変えることを期待する声は、順位も下がって3%くらいのもです。

首相は、戦後体制を変革することが必要だといっていますが、一体何のためにそれが必要なのでしょうか。「美しい国」作りのためとか言いますが、「美しい国」って何なのでしょう。こんな歯が浮いたような標語を政府の偉い人たちが言っているのを見ると、滑稽です。アメリカの（愛）国歌 *America The Beautiful* を意識したキャッチフレーズとしか思えません。その「美しい国アメリカ」が今どんな状態にあるのか……。確かに、ブッシュ大統領には歓迎される標語かもしれませんが、余りにもお粗末としか言えません。「戦後体制」を変革し、それを「格差社会」へと組み替えて、それが「美しい国」だとでも考えているのでしょうか。今、日本の労働人口の3分の1近い人たちが、200万円位の低い年収で働かされていると聞きます。働いているのに貧乏という人たちが急増しています。年金生活者や障害者の生活環境も、年々劣悪化の方向にあります。これが「美しい国」だとでも言うのでしょうか。

安倍首相が懸命にエールを送っている当のブッシュ大統領はというと、イラクへの軍隊派兵をめぐるアメリカ国内からも猛烈な反対を受けています。すでにイラク戦争に対しては、多くの国から批判や疑問が湧きあがっているというのに、未だに支持し続けているのは日本国政

府くらいのものではないのでしょうか。いい加減に目を覚まさないで、世界の鼻つまみものになりかねません。しかし、その頼みのアメリカも、気がつけば日本を飛び越えて北朝鮮と話しをつけそうな雰囲気にもなっています。六カ国協議というのに、実際には五ヶ国協議のようにしか見えないのも寂しいものです。

しかし、今進行中の事態は、決して笑い話では済まされないところが恐ろしいです。ブッシュのイラク政策がアメリカ国内でも支持されなくなれば、そのツケが日本に回ってこないという保証もありません。というより、その危険性の方が大きいように見えます。国連の常任安全保障理事国入りのためには、自衛隊員の血を流すことも厭わないなどということにもなりかねません。すでに防衛庁は防衛省に格上げされ、自衛隊員の海外任務も本務として認められています。ここまでくれば、再編されたアメリカ軍とともに日本の自衛隊が海外で戦闘に参加するのに、あとは憲法改正を待つばかりなのかも知れません。

私達は、何時頃からこれほど従順な人間になったのでしょうか。政府やお役人が言うことには逆らえない。黙って従うか、知らん振りをして無関心を装うか、そのどちらかしかないのでしょうか。こんなのが民主主義国家なのでしょうか。気がつけば、批判的精神が宿ると言われたこともあった大学自身、今では、文部科学省の言うなりにしか自らを立てることが出来なくなっています。昔、誰かが「いまや大学では羊を飼いならすことしかしていない」と言って批判していたことがありましたが、フツと、そんな言葉を思い出します。しかし、いい加減に目を覚まさないで、これからどんなことになるのか、ゾッとします。

現行憲法には、私達の基本的人権が明記されています。言論の自由、思想信条の自由も保証されています。働く者達には団結して自らの意見を主張することも認められています。何もかも言葉だけで終わらせてしまっただけでは民主主義も形無しです。民主主義は、誰もが主人であることが大事だと思います。もう一度、主権者としての権利、というより意地を見せなければいけないような気がします。これから国会で始まる国民投票法案の議論に対し、精一杯アンテナを張って監視していかなければなりません。

**編集後記** 年が明けてから早一月近くたってしまいました。今国会では、国民投票法案が大きな問題になっています。飯田先生には早くから用意して頂いていたのに、『通信』の発行がこんなに遅くなってしまいました。すべて、編集責任者の責任です。お詫び致します。それ以外になかなか記事する文章を整理することが出来ず、結果的に埋め草的なものを載せざるをえなかったことを反省しています。投稿をお待ちしています。(止